平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 ビジネス・ワンホールディングス株式会社　　上場取引所　福
コード番号　4827　URL　http://www.businessone-hd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 尾崎 朝樹
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長　(氏名) 池田 幹　TEL 092-534-7210

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,319	42.4	147	293.5	132	429.4	92	328.9
23年3月期第2四半期	926	107.6	37	106.6	24	192.6	21	153.7

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　92百万円　(328.9%)　23年3月期第2四半期　21百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2,241.15	―
23年3月期第2四半期	522.59	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	1,906	584	30.7	14,086.76
23年3月期	2,004	491	24.5	11,845.60

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　584百万円　23年3月期　491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	100.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	17.1	150	30.6	120	81.5	110	172.4	2,651.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	41,489 株	23年3月期	41,489 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	0 株	23年3月期	0 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	41,489 株	23年3月期2Q	41,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、原材料価格の高騰によるコスト上昇の影響があるものの、原材料・資機材の供給不足が解消されつつあり、企業の生産活動は回復してきております。しかしながら、雇用については震災の影響により企業の慎重な姿勢も垣間見られ依然として厳しい状況であり、企業倒産件数も横ばいで推移するなど、復興に向けた回復のテンポは緩やかになってきております。

また米国や欧州の先行き不安を背景とした歴史的な円高の進行や株式市場の低迷により、今後の景気が下振れするリスクが存在しており、国内経済は今後も先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、収益構造の強化を目的として各事業部門の利益確保を意識した収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上を目指してまいりました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高1,319,113千円（前年同期比42.4％増）、営業利益147,459千円（同293.5％増）、経常利益132,284千円（同429.4％増）、四半期純利益92,983千円（同328.9％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産事業

震災の影響による住宅関連の消費マインドの低下から、競売物件の売却計画に若干の遅れが生じましたが、買取物件再販事業や前連結会計年度より事業拡大しております賃貸等不動産による賃料収入事業が順調に推移し、当第２四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は827,689千円（前年同期比101.4％増）、セグメント利益149,825千円（同334.5％増）となりました。

②マンション管理事業

業界の競争激化の影響により、マンション管理事業部門の業績は非常に厳しい状況が続いておりますが、業界最大手の「大京アステージ」との業務提携に基づき、抜本的なインフラの再構築をすすめるとともに、新しいマンション管理の受託を目指し企業基盤の強化を図ってまいります。

当第２四半期連結累計期間におけるマンション管理事業の売上高は454,596千円（前年同期比0.8％増）、セグメント損失2,857千円（前年同期はセグメント利益638千円）となりました。

なお当第２四半期連結累計期間においては、平成22年６月11日付けでリアリティマネージメント㈱（旧インベストサービス㈱）より提訴され、１年以上に亘り口頭弁論手続きを続けてまいりました損害賠償請求訴訟につきまして、この訴訟の経過等の状況を判断して将来発生する可能性のある損失を見積り、必要と認められる額10,000千円を訴訟損失引当金繰入額として、株式会社ビジネス・ワンファシリティーズの特別損失に計上しております。

③ソフトウェア事業

当第２四半期連結累計期間においては、顧客へのサービスを充実させるため、パッケージソフトウェアの操作指導（スクール）やサポートセンターによる既存ユーザーへの電話での操作指導やバージョンアップ案内等の保守関連に積極的に注力しております。

また主力商品であります「消防くん」のパック商品販売の推進や、バージョンアップ等による売上が好調であった事、またマイクロソフト社の最新ＯＳ「Windows７」の販売により企業のパソコン買い換え需要が喚起され、それに伴う当社販売のパッケージソフト売上が好調に推移し、当第２四半期連結累計期間の売上高は66,144千円（前年同期比21.6％増）、セグメント利益23,830千円（同67.6％増）となりました。

④ファイナンス事業

法人向け不動産担保ローンを主としておりますが、当第２四半期連結累計期間においては大口融資案件が前連結会計年度より減少し、当第２四半期連結累計期間の売上高は3,622千円（前年同期比69.4％減）、セグメント利益1,070千円（同88.5％減）となりました。

⑤その他の事業

前連結会計年度より、フィービジネス及び賃料収入等の業績管理をその他の事業から不動産事業に集約しましたが、子会社の増加による経営指導料及び事務委託手数料等が増加いたしましたので、当第２四半期連結累計期間の売上高は99,795千円（前年同期比17.3％増）、セグメント利益12,293千円（同6.4％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は1,115,575千円となり、前連結会計年度末に比べ136,228千円減少いたしました。これは主に営業貸付金は40,761千円増加いたしましたが、現金及び預金が28,051千円、販売用不動産が169,433千円減少したことによるものであります。固定資産は790,920千円となり、前連結会計年度末に比べ37,909千円増加いたしました。これは主にのれんは37,946千円減少いたしましたが、土地が63,214千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、1,906,495千円となり、前連結会計年度末に比べ98,318千円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は725,553千円となり、前連結会計年度末に比べ51,153千円減少いたしました。これは主に１年内返済予定の長期借入金は31,270千円増加いたしましたが、短期借入金が2,640千円、１年内償還予定の社債が70,000千円減少したことによるものであります。固定負債は596,496千円となり、前連結会計年度末に比べ140,148千円減少いたしました。これは主に長期借入金が123,987千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,322,050千円となり、前連結会計年度末に比べ191,301千円減少いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は584,445千円となり、前連結会計年度末に比べ92,983千円増加いたしました。これは四半期純利益92,983千円の計上によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきまして、当第２四半期連結累計期間の連結業績は、概ね計画どおり推移しており、平成23年５月12日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	200,944	172,893
受取手形及び売掛金	82,676	77,280
販売用不動産	769,585	600,151
原材料及び貯蔵品	1,499	1,411
営業貸付金	121,930	162,692
その他	75,314	117,297
貸倒引当金	△147	△16,151
流動資産合計	1,251,803	1,115,575
固定資産		
有形固定資産		
土地	337,037	400,251
その他	185,491	198,146
有形固定資産合計	522,529	598,398
無形固定資産		
のれん	187,283	149,337
その他	15,600	15,819
無形固定資産合計	202,884	165,156
投資その他の資産		
投資その他の資産	28,122	27,785
貸倒引当金	△525	△420
投資その他の資産合計	27,597	27,365
固定資産合計	753,010	790,920
資産合計	2,004,814	1,906,495
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,682	26,982
短期借入金	304,602	301,961
1年内返済予定の長期借入金	154,834	186,105
1年内償還予定の社債	170,000	100,000
未払法人税等	6,330	5,544
賞与引当金	3,942	786
訴訟損失引当金	―	10,000
その他	111,315	94,174
流動負債合計	776,707	725,553
固定負債		
長期借入金	685,157	561,169
退職給付引当金	7,745	8,179
その他	43,741	27,146
固定負債合計	736,644	596,496
負債合計	1,513,351	1,322,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	55,428	148,411
株主資本合計	491,462	584,445
純資産合計	491,462	584,445
負債純資産合計	2,004,814	1,906,495

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	926,365	1,319,113
売上原価	668,183	930,687
売上総利益	258,182	388,425
販売費及び一般管理費	220,705	240,965
営業利益	37,476	147,459
営業外収益		
受取利息	35	20
受取配当金	16	44
消費税差額	424	－
受取賃貸料	－	1,992
その他	736	720
営業外収益合計	1,213	2,776
営業外費用		
支払利息	10,930	13,232
社債利息	2,199	2,268
その他	573	2,450
営業外費用合計	13,703	17,951
経常利益	24,986	132,284
特別損失		
前期損益修正損	629	－
投資有価証券売却損	1,000	－
貸倒引当金繰入額	－	15,895
貸倒損失	－	8,638
訴訟損失引当金繰入額	－	10,000
特別損失合計	1,629	34,534
税金等調整前四半期純利益	23,357	97,750
法人税、住民税及び事業税	1,675	4,767
法人税等合計	1,675	4,767
少数株主損益調整前四半期純利益	21,681	92,983
少数株主利益	－	－
四半期純利益	21,681	92,983

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,681	92,983
四半期包括利益	21,681	92,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,681	92,983
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月1日　至　平成22年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	不動産事業	マンション管理事業	ソフトウェア事業	ファイナンス事業	その他の事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	410,206	448,492	54,395	11,650	1,620	926,365
セグメント間の内部売上高又は振替高	821	2,672	－	204	83,492	87,190
計	411,027	451,164	54,395	11,855	85,113	1,013,556
セグメント利益	34,481	638	14,220	9,339	13,138	71,819

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	71,819
のれんの償却額	△35,124
セグメント間取引消去	510
その他の調整額	271
四半期連結損益計算書の営業利益	37,476

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月1日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	不動産事業	マンション管理事業	ソフトウェア事業	ファイナンス事業	その他の事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	799,528	447,939	66,144	3,597	1,904	1,319,113
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,160	6,657	－	24	97,891	132,734
計	827,689	454,596	66,144	3,622	99,795	1,451,847
セグメント利益又は損失（△）	149,825	△2,857	23,830	1,070	12,293	184,163

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	184,163
のれんの償却額	△37,946
セグメント間取引消去	692
その他の調整額	550
四半期連結損益計算書の営業利益	147,459

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
（保証債務）
当社グループは、平成23年10月21日に、株式会社ジェイ企画が住宅ローン債権を買取る資金として、株式会社北九州銀行より融資を受けた400,000千円に対して、債務保証契約を締結いたしました。なお、債務保証の期間は平成29年10月13日までであります。